



民話を聞く会

「学校で1番楽しみな時間は？」の質問に、「給食の時間です。」と答える児童が多いことは予想できますが、「2番目は？」と問われれば、「民話です。」と答える児童の割合が多いのが三和っ子ではないかと思えます。それほど、民話を聞いている時の三和っ子は、どの学年でも真剣そのもので、うなずいたり、笑ったり……。語ってくださる品竹先生も、「三和小学校に来るのが楽しみです。」「素直な子どもが多いので、とっても上手に聞いてくれます。」と、いつも感想を述べてくださいます。

下の写真にあるように、22日(月)の2校時目に3・4年生が、3校時目に1・2年生が、4校時目に5・6年生が品竹先生の民話の語りを聞かせていただきました。

昨年度は、視聴覚ホールで、今の5・6年生が品竹先生に教えていただいた民話を語るというチャンスをいただきました。今年は、このコロナ禍で、そのような機会に恵まれることはないでしょうが、4年生が総合的な学習の時間で、品竹先生に教えていただきながら民話の語りを学習していきます。民話の語り、三和小の伝統として継続していくことを期待したいと思います。



体力・運動能力調査

昨年度末の約1か月間の休校、そして今年度も4月から5月にかけて休校があり、子どもたちの体力・運動能力が衰えているのではないかと考えがあり、調査そのものの中止を検討しましたが、状況はどうか、毎年データを取っておくことは大切だという考えのもと、今年度も23日(火)に4～6年で、24日(水)に1～3年で体力・運動能力調査を実施しました。

5月末から学校が再開され、新しい生活様式を取り入れながらではありますが、「三和っ子タイム」での50mダッシュや体育の時間を活用して、体力作りに取り組んでいます。これからは、プールでの学習も取り入れながら、三和っ子の体力・運動能力を高めていきたいと思えます。

